

法人名	横浜市
施設名	横浜市大熊保育園

発表者名 (職名)	中井 大貴 保育士	住所	横浜市都筑区仲町台3-6-6		
発表者名 (職名)		TEL	045-942-9884	FAX	045-942-9891
発表者名 (職名)		メールアドレス	tz-ookuma@city.yokohama.jp		
		URL			
		定員	119名	職員数	61名

発表の概要・内容

1. 提案主旨

2歳児クラスの集団遊びや活動にあまり興味を示さなかったAさんとBさん。

保育園のたのしいリズムあそびの活動を通してAさん、Bさんがどのように成長し、集団活動への興味・関心が広がったかなど、実践報告します。

大熊保育園のリズム遊び

- ・ピアノの音に合わせて体全体を使って**自由に表現する**楽しさを味わう
- ・0歳児～5歳児まで**発達に合わせた動き**を取り入れて楽しんでいる
- ・体の先まで意識して動きを楽しむことで、**自然と体幹も鍛えられる**

2. 実践の内容

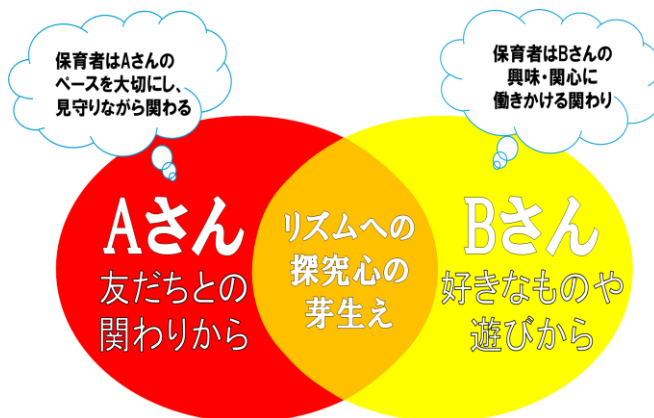
Aさんは、リズム遊びで使うピアノやキーボードに興味があり、リズム遊びの様子を見ることはありませんでした。しかし、友だちが使っているおもちゃに興味を持つようになったことで、Cさんとの関わりが築かれ始めました。そして、Cさんと一緒にのこをやってみたい気持ちが芽生えたことで、リズム遊びに参加するようになりました。

Bさんは、ダンゴムシが大好きで、ダンゴムシになりきって遊ぶことも好きでした。リズム遊びの「うま」「とんぼ」「わに」などの動きには興味がなく、参加していませんでした。そこで、リズム遊びの中に「ダンゴムシ」の動きを取り入れたところ、リズム遊びの動きに興味を持って参加するようになりました。

保育者は、無理にリズム遊びには誘わず、2人の興味・関心が今、何にあるのかを見極め、様子を見守ったり新たな動きを取り入れたたりして働きかけました。

3. 実践から学んだこと

日々の生活の中での様々な体験や経験が子どもたちの「これってなんだろう？」「やってみよう！」という探究心を育み新たな体験や経験を重ねる力となることが感じられました。また、保育者は子ども一人ひとりの個性・ペースを尊重して、様々な側面から働きかけたり、時には見守ったりすることの大切さを再認識しました。



メモ